

27 期郡司ひさゑ奨学生 入学報告

▼「Jリーグのトレーナーになれるように頑張っていきたい」

東京の医療・スポーツ系の専門学校に入学した男性

私は、医療・スポーツ系の専門学校の鍼灸師科に入学しました。鍼灸師の基礎から学んでいます。入学して、様々なことを感じました。まず、勉強がとても大変だと感じました。解剖学や医療概論、東洋医学、西洋医学など基礎を覚えるのがとても大変です。また、東洋医学と西洋医学とでは考え方や治療の仕方も違うので、区別が難しいです。解剖学は人体の仕組みについて学んでいます。細胞や組織、器官の名称、働きなどを勉強していますが、量が多すぎてなかなか覚えきれません。なので、午後の時間を使って、授業の予習、復習に取り組み、その日にやった内容はできるだけ覚えられるようにしています。専門学校では小テストが頻繁に行われるため、単位を落とさないよう頑張っていきたいです。また、勉強ももちろんですが、アルバイトも両立して頑張りたいです。国からの奨学金はまだ来ないですし、その他採用された奨学金も決して多くないので、よく考えてお金を使いたいです。一人暮らしも想像していたことよりも大変で、やることも多いと感じました。3月中旬から一人暮らしを始めましたが、様々な手続きをしたり、ご飯を作ったり、施設にいた頃のありがたみを実感しました。引っ越しした直後に体調不良になったり、部屋が片付かなかったりしますが、今は友達もできて、とても充実しています。これからたくさんの行事があるし、学生スタッフ、短期留学などを通してコミュニケーション能力を磨き、コネクションを構築していきたいです。トレーナー専攻や日々の授業を通して、トレーナーとして必要な知識を身につけ、インターンにも積極的に参加していきたいですし、選手一人一人に適したトレーニング法を提供したいです。そして、夢であるJリーグのトレーナーになれるように頑張っていきたいです。

▼「新しい趣味や人間関係が広がっていくことに日々の充実」

関西の私立大学理工学部に入学者した男性

新たな環境の中で新しい分野や多岐にわたる学問に励んでいます。特に私は実用英語技能検定1級とTOEIC900点を目指し英語に精を出しています。これも奨学金という経済支援をいただけたおかげであり、心より感謝申し上げます。入学に伴い、施設を離れ、初めての一人暮らしもスタートしました。最初は慣れない生活に戸惑うことが多く、自炊や家事、生活リズム・物の管理など、すべて自分でこなすことの大変さを実感しました。しかし、その分日々の成長を感じることができ、自立した生活を送る責任感が生まれています。困ったときには友人や施設の方々が助けてくださっていることもあり、人とのつながりのありがたさも実感しています。

大学では化学の基礎から応用に至るまで幅広い知識と技術を学んでおり、日々の授業がとても刺激的です。特に実験の授業では、3時限にわたって、自らの手で反応を観察し、結果を分析する楽しさや友人と一緒に実験する楽しさを実感しました。また、同じ志を持つ仲間と出会い、学びを共有し合えることも大学生活の魅力の一つです。サークル活動にも参加し、新しい趣味や人間関係が広がっていくことに日々の充実を感じています。たくさんの苦勞もありますが、それより新しい体験をできていることの嬉しさのほうが大きく、より一層、大学生活を充実したものにしていきたいと思います。

奨学金のご支援がなければ、こうして学業に専念することは困難でした。いただいたご恩忘れず、今後も努力を惜しまず励んでいきます。次回の近況報告で成長した事をご報告できるよう、頑張っていきます。この度は奨学金を支援して下さいありがとうございます。

▼「将来自分と似たような境遇の子ども達と関われる様な支援を」

関東の私立大学経済学部に入學した女性

私の今年の抱負は2つあります。

1つ目は、TOEICの点数を上げることです。大学では、英語のクラス分けの際に、学科ごとのTOEICの点数でクラスが決められました。私は1番点数が高かった生徒たちがいるクラスに所属することになりました。しかし、周りは英語を得意とする人たちが多いため、自分自身の英語力ではまだ適わないと焦る気持ちとともっと勉強に力を入れて頑張りたいという闘争心が湧きました。ですので、今後は、スキマ時間を上手く活用して主に英単語の習得やリスニングの強化をして行きたいと思います。そのためには、大学から配布されているTOEICの教材を最大限活用し、授業の課題で出されるリスニングとライティングを細部まで気を抜かずに行おうと思います。

2つ目は、余裕を持った生活を送ることです。一人暮らしが始まり、今までとは大きく異なる生活になったため、今後良いバランスを保つことができるのだろうかと少し不安を感じています。現在では、学校で授業を受け、帰ってきたあとに夜ご飯を作り、食べた後、配布された課題をやってから就寝するというルーティーンで生活をしています。課題が多く出された日には、終わらせる時間が遅く、就寝時間も遅くなるため翌日の授業に集中する事が難しくなってしまいうこともありました。同じようなことを今後繰り返さないように、時間と気持ちに余裕を持ちながら生活する方法を考えていきたいです。

私は将来自分と似たような境遇の子ども達と関われる様な支援やボランティアをして社会に貢献、また、恩返しをしたいと考えています。まだ具体的なイメージはなく、漠然とした夢ですが、国内の児童養護施設で生活している子ども達と直接交流することはもちろん、私がして頂いたように、外国の子ども達と関わる機会を提供し、いい思い出や夢を与えられる人になりたいです。この夢を実現させるために、座学以外の実践的な英語を使ったコミュニケーションを取る練習を、大学の先生方との会話を通して身につけていきたいです。

▼「3ヶ月間は照明や音響、コンサートの設営などを一通り経験」

東京のイベント系専門学校に入学した女性

入学式を終えてから、早くも1ヶ月が経過しようとしています。この1ヶ月だけでも様々な経験や気づきがありました。学科ではコンサートやイベントの裏方さんになるための勉強ができます。入学してからの3ヶ月間は照明や音響、コンサートの設営などを一通り経験する期間になっており、全てのコースで実習を行っています。私は音響に興味があり、進路として視野に入れてしています。音楽経験がないと難しいことが多いのですが、音楽経験のある周りの子に話しかけて勉強を教えてもらうなどし、音楽そのものに接するきっかけになりました。

他県での研修旅行もありました。ここでは同じ科の人たちや都内にあるもうひとつのキャンパスの人たちと関わる機会を得ました。2つのキャンパスの学生が集まると1000人近くになります。同じ道を進む人がこんなにもいるのだと実感しました。また、生活面では一人暮らしを始めて1ヶ月が過ぎました。食品や生活費用を抑えるために工夫したり、掃除や料理などの家事を自分でしたりすることがとても大変になるかと思っていたのですが、昨年度まで過ごしていた児童養護施設で洗濯などを自分で行っていたためか、億劫に感じるほどではありませんでした。一人で暮らしているため、細かなルールなどがなく自分の余裕を見て家事を行うことができていると思います。学校に持っていくお昼ご飯なども、余裕のあるときにいくつか作り、温めて持って行っています。これからきっとより大変になっていくと思いますが、始まりとしては良い、穏やかなペースで生活ができていると思います。そして金銭面。今まで続けていたスーパーでのアルバイトはそのまま継続しつつ、さらにもう一つドラッグストアでのアルバイトを掛け持つことにしました。ドラッグストアを新しく選んだ理由は社員割引が使えるという点でした。生活用品を買う際に助かっています。食品も取り扱っているので、アルバイトの帰りに買い物ができて助かっています。この始まりのペースを忘れることなく、実習や勉強がさらに増えたとしても継続できることが今の理想の形だと思うので、自分でできることをさらに増やし、より良い生活を築き上げていきたいと思っています。

▼「食の面から人々の健康をサポート出来るような栄養士になれるよう頑張りたい」

四国の短大に入学した女性

4月2日に入学式があり、3日間のオリエンテーション期間を経て授業が開始されました。オリエンテーション期間では、短大生活や就職に関するガイダンス、履修登録、教科書購入等がありました。友達も5人でき、履修登録では、必修科目を落とさないようお互いに確認しあいながら登録をしました。実際に履修登録を行うと授業が詰まっていて、栄養学の授業だけでなく、解剖生理学や社会福祉学等の科目もありました。複数ある科目の中でも、特に毎週ある実験が食品の特性を視覚的に学べるので楽しみです。直近で行う実験は、水道水と飲料水の水質について、水質基準を元に比較し、硬度別に分類するというものらしいです。

いつも飲んでいる水道水の水質はどうだろうと今から胸を弾ましています。

その他にも、サークル見学に行きました。最初は、サークルに入らずアルバイトのみを行う予定でしたが、友達に誘われ、各サークルの見学に行くと2つのサークルに興味を引かれました。生協主催のイベントを企画・運営するサークルは、活動を通して協調性やコミュニケーション能力が身につくそうだと思います。また、2つのサークルとも活動は同じ日で週1回な為、アルバイトと両立できそうだと思います。ことにしました。

私は、これまでと変わらず里親さん宅から通学をするのですが、短大卒業後の自立を見据え、なるべく自分のことは自分で行いたいです。一見簡単そうに見える掃除や洗濯、調理等の家事は、急にはできないことだと思うので少しずつ出来るようになりたいです。

ずっと学びたかった分野の学習ができ、毎日充実した生活を送っています。しかし、2年間で調理法、疾病、栄養学等の様々な知識を習得しなければならず、授業についていけるか不安もあります。その為、課題を提出して満足するのではなく予習・復習も怠らず、有意義な2年間にしたいです。そして、食の面から人々の健康をサポート出来るような栄養士になれるよう頑張りたいです。

▼「2級建築士とインテリアコーディネーターの資格を取り、内装の仕事につきたい」

東京の建築インテリア系の専門学校に入学した男性

入学式当日、同じクラスの人たちと話が出来てこれからの学校生活が楽しみになりました。高校に通っていた時は自転車通学をしていてあまり電車に乗ることがありませんでした。それもあって満員電車で押しつぶされて登校するのが今は少し辛いです。通勤ラッシュを避けるために今は30分早く家を出るようにしています。入学式の翌週から通常授業が始まりました。早速製図の授業が始まり、同じ濃さで太線、中線、細線といった線の種類を使い分けることを学びました。それを使って実際にある家の設計図を書いています。1日の半分の授業が手を動かして、また、学びたいことを学んでいるのもあって1日が終わるのがとても早いです。インテリアと建築の座学の授業では建物の作り方というよりも建築の在り方を学んでいます。

改めて自分は2級建築士とインテリアコーディネーターの資格を取り、内装の仕事につきたいと思いました。そう思った理由は、今通っている学科の特色である、建築とインテリアを幅広く学ぶことができ、建築の仕組みが分かった上で誰も思いつかないことを面白くリノベーションや内装を作っていきたいと思ったからです。お客様の予想を超える物を作り上げていきたいです。

この夢を実現させるために、目標を定めました。しっかりと自分から学びを得て卒業をし、2級建築士の資格を取るための学科に内部進学をしたいと考えています。社会に出る前にインテリアコーディネーターや2級建築士の資格を取ることで、仕事の幅や、いち早く建築業界で活躍できるチャンスをつかめると思ったからです。同じ学校のみんなと切磋琢磨をし、目標に向かって、一生懸命勉学に励んでいきたいです。

▼「理学療法士という夢に向かって大学生活を頑張っていこう」

九州の私立大学に入学した男性

一人暮らしを始めるにあたって準備しないといけないことがたくさんあり大変でしたが、職員の方が協力してくれたおかげでスムーズに準備を進めることができました。入寮して数日経ちました。食事や掃除、洗濯など一人で行う大変さを実感しています。その反面、自分のペースで行うことができるので気楽な部分もあり、充実した寮生活を送っています。寮にはたくさんの学生がいますので、気軽に相談でき、寮の管理人の方も人情味のあふれる方でとても接しやすく、安心して生活しています。

4月5日の入学式は、私が通うキャンパスではなく他のキャンパスで行われました。たくさんの学部の学生がいて緊張しましたが、みんな優しそうな人ばかりでした。学長や来賓の方々の挨拶では、学生生活を送る上で大切なことを教えてくださいました。入学式後には桜の下で学部の友達と写真を撮りました。入学式後のオリエンテーションでは学内の施設の案内や歓迎行事、ホームルーム等が行われ、その中でクラスの人と話したり連絡先を交換したりするなどし、有意義な時間を送ることができました。

4月11日からは本格的に授業が始まります。模擬授業を受けましたが、90分授業はとても長く、高校時代の50分授業が懐かしく感じました。まだ入学して数日ですがとても充実した生活を送ることができています。これから頑張りたいことはサークル活動やボランティア活動に積極的に取り組むことです。活動を通して自分自身の成長やコミュニケーションの大切さを学びたいと思います。

この先辛いことや苦しい事があり、何度も壁にぶつかるとは思いますが自分の将来の夢である理学療法士という夢に向かって大学生活を頑張っていこうと思います。

▼「歯科衛生士に向けて後悔のないように努力」

東北の医療系専門学校に入学した女性

4月6日に入学式が行われました。かねてより人の笑顔を見ることができる仕事に就きたいという思いがあり、歯科衛生士という職業に魅力を感じて進学を決意しました。将来は国家試験に合格し、即戦力として働くことができる歯科衛生士になることを目標に、日々勉強に励んでいます。進学にともなって、私は児童養護施設を退所し、一人暮らしを始めました。初めての一人暮らしは想像以上に大変で、生活リズムを整えることや家事をこなすことに苦労する日々が続いています。特に、慣れない環境での炊事や洗濯、金銭管理など、全て自分でやらなければならないことに戸惑いを感じることもあります。最初は何をするにも時間がかかり、心身ともに余裕がない状態でした。また、生活費や学費の管理にも気を配る必要があります。これまで以上に計画的に行動する力が求められていると実感しています。しかし、このような生活を通して少しずつ自立心が芽生え、社会人としての基礎を身につける機会になっていると感じています。今はまだ勉強と新しい生活に慣れることを優先していますが、

今後は生活が安定してきた段階でアルバイトも始めて、社会経験を積みたいと考えています。

学校生活では、歯科衛生士に必要な専門的な知識や技術を学ぶ日々が始まりました。解剖学や衛生学といった専門科目は難しく、授業についていくためには、予習・復習が欠かせません。まだ始まったばかりですが、クラスメイトや先生方に支えられながら前向きに取り組んでいます。初めてのことばかりで不安もありますが、自分が選んだ道である以上、後悔のないように努力を続けていきたいと思っています。これから三年間、支えてくださっている方々への感謝を忘れず、目標である国家試験合格を果たせるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいです。そして、将来は地域の人々の健康を支える歯科衛生士として社会に貢献できる人間に成長していきたいと思っています。

▼「大学4年間、なるべく多くの事に挑戦していきたい」

九州の国立大学に入学した女性

4月2日に入学式がありました。その後3日間は履修登録の説明などオリエンテーションがありました。そこで、友達も何人かでき、わからないところを共有するなどしました。一年生は専門科目だけでなく教養科目もあるため履修登録が少し複雑でしたが、漏れがないように友達と確認し合いながらできました。思ったより空きの時間が多かったので、アルバイトなども入れて無駄な時間を作らないようにしたいです。

私は教養科目の選択でフランス語をとりました。いつかヨーロッパに留学か旅行に行きたいと考えています。フランス語を前期と後期で受講すると1年生の3月で短期留学に行く機会を得られるとのことで、フランス語や文化についてしっかり学んでいきたいです。実際の授業では自己紹介やアルファベットの発音など基礎の部分を丁寧に教えてくれたり、短い映画の鑑賞をしたりとても楽しいです。留学はかなりお金がかかるらしいので、大学に支障が出ないようにアルバイトも頑張ります。専門科目では簿記の資格を取得するための知識を学んだり、モノポリーというゲームを通して交渉や投資などを学んだりしています。今まで習ったことがなくどれも新鮮で楽しいです。

サークルは学園祭運営委員会に入ろうと考えています。警備部や記録部など、5つの部署に分かれ、自分の能力にあった所で活動できるところに魅力を感じています。どの部署に入ってもコミュニケーション力が身につけそうでとても楽しみです。今まで学校行事の裏方の仕事をしたことがなかったので、どんな風に仕事ができるのか、また他の学部の人にも集まるのでその人たちとの交流にも関心があります。

現在は施設から大学に通っていますが、早くて大学2年生、遅くても大学3年生になるまでには一人暮らしを始めようと考えています。そのためのアルバイトはもちろん、普段の生活で洗濯や料理などを自分自身でやっていこうと思います。

これからの大学4年間、なるべく多くの事に挑戦していきたいです。まだ明確に将来の夢は決まっていますが、大学の先生の話や動画を聞くなどして少しずつ固め、自分の進路にしっかり向き合っていきたいです。

▼「夢はアートディレクターだが、この四年間は他の分野にも積極的に目を向けたい」

中国地方の公立大学に入学した女性

4月2日に、地元にある大学の国際系の学部に入りました。入学してからの一週間は新入生歓迎週間として、同じ学科の上級生による学内外でのオリエンテーションや、履修登録の相談会などがありました。その中で学籍番号や席の近い人と話す機会もあり、自分から話しかけることができました。

一週間後には授業が始まり、入学に合わせて購入したパソコンを使う機会がありました。授業が始まる前の設定等に不安があったため、学内にある専門の相談室で質問をしながら準備を進めました。最初は自分のパソコンを使うことに不安がありましたが、最近は扱いにも慣れてきたのを実感しています。また、学科や学部を問わず趣味の合う友達ができ、一緒に移動したり昼食を食べたりと、楽しく大学生活を送ることができています。

私は美術に携わる職業に就くための専門的な勉強をしたくてこの大学に入りました。アートディレクターになるという夢を掲げて進路選択をしましたが、この四年間は他の分野にも積極的に目を向けていきたいと考えています。また、大学に進学するにあたっていくつか小さな目標を立てました。まず今年一年間の目標は、一刻も早く大学生活に慣れ、自分の行きたいコース・ゼミをとれるよう単位を落とさず進級することです。入学した学科は二年次にコース選択をするようになっており、私はデザイン系のコースを希望しています。しかし、入学時点で希望者が多く、本人の希望以外に成績を参考に振り分けをする可能性があることを告げられたため、第一関門として行きたいコースに進むことを目標にして一年次は勉学に励もうと考えています。生活面に関しては、措置延長とはいえ自分でやらなければいけないことや負う責任が増え、早速高校生の時とのギャップを感じています。不安なことも多いですが、まずは健康に気を付けて一年間頑張っていきたいです。

以上